



【先週 7月4日～7月10日の外食の出来事】

■あみやき亭 6400万円黒字 4～6月最終

焼肉店チェーンのあみやき亭が2日発表した2021年4～6月期連結決算は最終損益が6400万円の黒字(前年同期は8億7700万円の赤字)だった。4～6月の既存店の来客数が前年同期より14%増えた。

■銚子丸、2021年5月期(20年5月16日～21年5月15日)の業績

2021年5月期 通期の業績は売上高177億9400万円(対前年同期比1.6%減)、営業利益6億300万円(同741.7%増)、経常利益8億6400万円(同521.5%増)、当期純利益3億7800万円(一)と減収も増益を確保した。

■かっぱ寿司本社を家宅捜索 はま寿司データ不正入手疑い

「カッパ・クリエイト」の田辺社長が、かつて取締役を務めていた「はま寿司」の売り上げデータなどを元同僚から不正に入手した疑いがあるとして、警視庁が不正競争防止法違反の疑いで家宅捜索。

■ワタミ、中国再進出 ワクチン普及で海外に活路

新型コロナウイルスの感染拡大による業績不振で2020年4月、中国本土で展開する居酒屋「和民」全店を撤退したが、コロナで国内事業が苦戦するなか、経済回復の早い海外に再度活路を見いだす。

■吉野家HD、黒字転換 3～5月最終、時短協力金が寄与

2021年3～5月期の連結決算は、最終損益が15億円の黒字(前年同期は40億円の赤字)だった。新型コロナウイルスによる店舗の時短協力金などを25億円利益に計上したことが大きい。

■ワタミ、「から揚げの天才」が1号店オープンから2年7ヶ月で100店舗を達成

ワタミは、揚げたてから揚げと、テリー伊藤こだわりの玉子焼き「から揚げの天才」の100店舗目となる下板橋店をオープン。1号店のオープンから2年7ヶ月での100店舗達成は、日本の外食チェーンでの最速記録になるという

■ハイディ日高、2月期(2020年3月～2021年2月)の業績 減収赤字

ハイディ日高は、2022年2月期 第1四半期(2021年3月～5月)の業績を発表。売上高59億3500万円(対前年同期比8.3%減)、営業損失12億1100万円(一)、経常利益3900万円(一)、四半期純利益7800万円(一)であった。

■壺番屋、第1四半期(2020年3月～5月)の連結業績 増収増益

壺番屋の2022年2月期 第1四半期の連結業績は売上高110億6100万円(対前年同期比7.1%増)、経常利益11億3800万円(同179.4%増)、四半期純利益12億5800万円(同396.7%増)であった。

■緊急事態宣言下での罰金、25万円に裁判所決定

東京都は、3月の緊急事態宣言下で時短命令に応じなかった4店舗に対し、裁判所が25万円の過料決定を出した。緊急事態宣言下では30万円以下の過料とされているが、裁判所は25万円が相当と判断した